

EL水戸②5191代

新
し
い
波

町長 加藤 清



町民の皆さん、茲に昭和四十一年の新らしい年を迎えて心からお喜び申上げます。

なることであり、できるだけに、目的に向つて進まなければなりません。そうした目的を達するためにはいろいろな条件があります。

昨年、は町でも四十号台風の来襲を受けたたり、ウツカ被害があったりまた年末には火災等が起きてあまり良い年であったとは云えませんが、それはそれとして新しい年を迎えれば、ことしは去年よりよい年であるように祈り、希望に心をふくらませるのは、世の情ではないでしょうか、殊に私の場合昨年十一月の任期満了につづいて再び町政をあつかふことになりましたが、あらためて責任の重さを感じておる次第であります。

一、市政の目標

私達は何千年の昔から生命を受けてつき、今日各々の生活を築き上げております。この悠久な生命力は亦私達の子孫に伝はつて限りない広がりを持つておるわけであります。こうした一人一人の生活によつて築き上げられ、積み重なつてできておる町も亦生生発展の未來を持つております。

身の生活を守るばかりでなく、経済的に技術的に、文化的に人間全体的の生活をより豊かにしより高めなくてはよくことになるわけですから、尊いことであります。最近東京の麹ヶ関に三十六階のビルディングが建設がはじまつております。タワーより高く日本でははじめてなのですが、そこまで日本の技術も進んで参つております。

しかし未来は現在の積み重ねであり延長であります。従つて私達はまづ今日の生活を守り、それを向上させ前進させて行かなければなりません。これが大きな町政の目標の一つであります。一人一人の生活がよくなるのが、町がよ

これは結局日本人の研究と勤勞の結果に他ならないわけでありま

す。私達の町も町民皆さんの勤勞によつて今日まで成長して参りました、殊に婦人の働くことは昔から有名でありまして、その力は大きな役割を果しておるものと信じ

せん。金のねうちといふものは、それがどのように世の中のために使われているかということによつて決まり亦批判もされるわけであります。どんなにえらい権力を持つておつても、それが正しく使用されず、乱用されるようなことがあれば世の中に害義が流され、人間の生活は乱されるわけであります。一人一人が健康で働く職場を持ちそれに家庭が平和であれば、これは人の一生の幸福を図る最低の条件であると言ひます。私達は、町全体を災害から守り平和なそして毎日がハリのある生活のできるようないろいろな努力を重ねて行かねばなりません。そうした方向づけの一つとして次のような提言をしたいと思つております。

うとする場合が多い。そこで誤解を生み紛争が起るのであります。充分話し合つて協力して貰う。亦こちらでも協力することが必要ではないでしょうか、きくことのむずかしさ、話すことのむずかしさ。

これら乗り越えて心と心とが触れ合うまで話し合えれば上乗であらうと思います。

(B) 正しい判断をしよう

これは知性の問題でありますが、物事の真実をよくつかむということがまず第一であります。

そしてそれをよくソシヤクして自分の意見を決めなければなりません。この場合一方にかたよることはできるだけ避け、充分判断の合理的基礎をかためなければならぬ。

とも必要でありましょう。私達はややもすると独断、独善におちいり易い欠点を持っているが大いに自戒すべきであると思ひます。

(ハ) 友情を育てよう

この世の中で大切なものは幾つもあるが、愛情はその最も大切なものの一つであります。親子、兄弟親戚、友人或は人間的情愛、それらをひつくるめて友情という言葉で表現できるなら、友情こそ珠玉のように大切なものであると思ひます。家庭において、職場において、ねたみや、憎しみや、我慾などは避けることのできない人間間の悲し性(サカ)であります。それをできるだけ少く抑え、いたわりの心や、たすけ合ひの精神を育てるべきであらう。

大洗は新しい波が徐徐にしかも力強く押寄せてきております。殊に新年を迎えた今日その力は尚一そう高まってくると思ひます。たゞそれは大洗港では埋立てのはじまる年であり、鹿島國鉄線では土地買収に入る年であるからであります。昨年十二月末原研の身身寮建設のことで地主さんと第一回目の会合を開きました。

その他大洗パイパスの築造或は防音工事の継続事業等基盤整備の相違は、日増に高鳴らんとしております。こうした歴史的な時代に巡り合はれた私達はその使命感を十分にシンシと肌へ感じております。

る。肩に手をかけ、いかにいふように人にの一生を支配するものは金力でもなければ、権力でもありません。人はややもすると目先のことに迷われ、他人が少しよくなると羨望やねたみを感じることもあります。が、さて本人の内部に入つてみると、さほどでもないことが非常に多いのであります。どんなに財力があつても死んでお墓へ持つてゆけるわけでもありません。

(イ) 誠意をもつて話し合おう
民主主義の原理は話し合ひであります。どんなに難しい問題であっても両者が誠意を披瀝して話し合はば必ず解決するはずであります。相手の話をよくきくということは大切であります。が、ややもすると相手の話をきこうとせず、自分の考えだけを押しつけよう

せん。それにはいろいろな要素が必要であり、平素から勉強しておかなければならないわけでありま
す。ややもするとかたよった意見
飲い判断を下して自分の城に立て
こもつておる場合が往々にしてあ
るけれど、ある場合には城から出
て広広とした平野に立ち、あらゆる
方向から結論を見出すといふこ
う。

町民の皆さん、
いろいろと述べましたが、現在

おてつていへば問題が多く
また難いとも倍増すると思ひます
がこれを乗切るかどうかによつて
大洗百年の大計が決まるかどうか
の重大な岐れ目でありますので、
茲に快意を新たに、町政に取
組むと同時に心から、皆さんの暖
かい御理解と御協力をお願い申上
げる次第であります。

執行部・議会一丸となって
理想郷の実現に邁進

町議会議長 大貫 熊雄



昨年来に見られた経済界全般に
の施策のよろしきを得て、昨今
みながって居た不況ムードも、国
みに好況に転じて、新年と共に

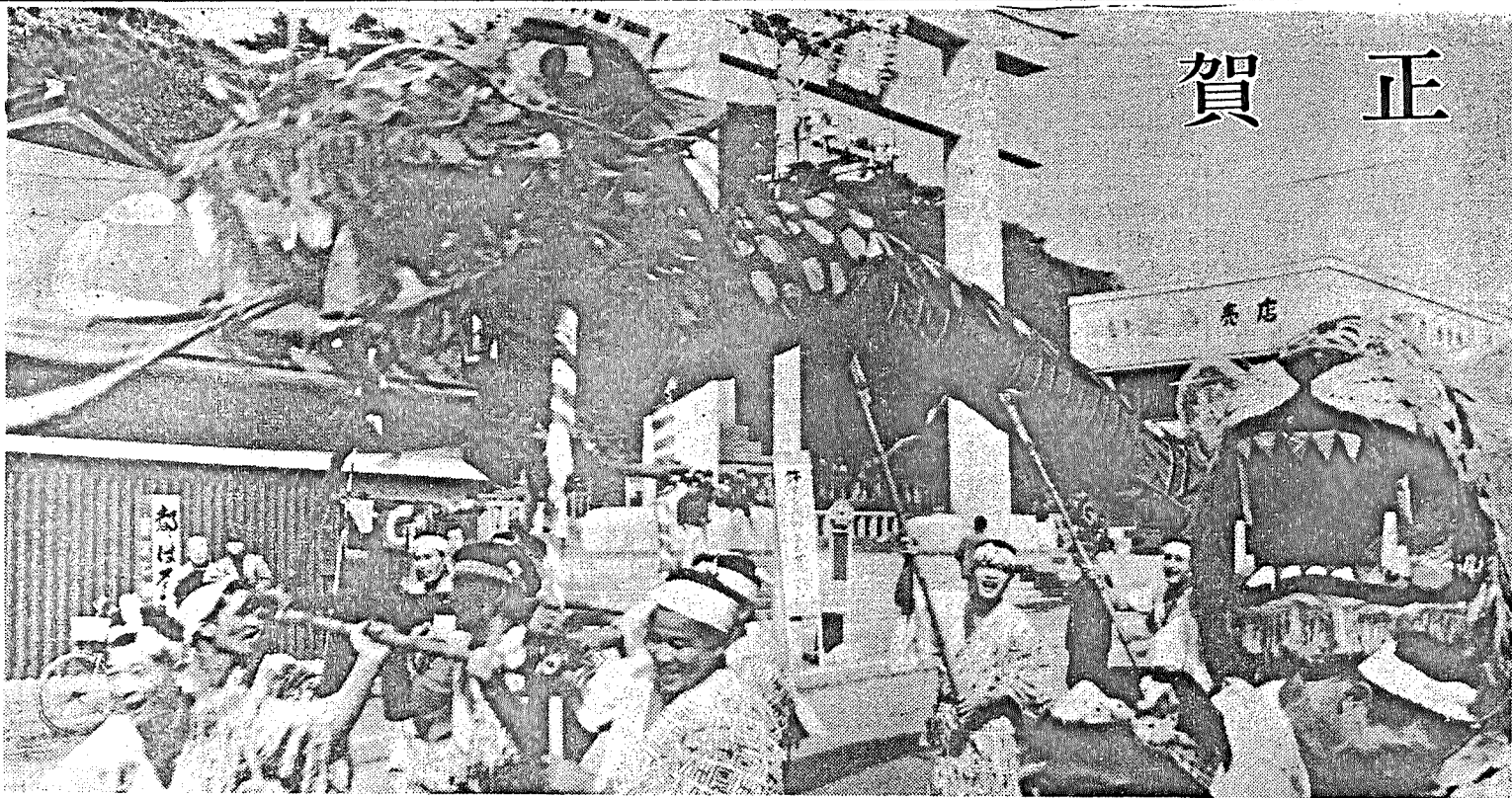
た明るい将来が約束される如くに感じられますが、亦一面、謂ゆる経済の高度成長の反面に見られる「ヒズミ」の面に対しての町の施策たる町民の福祉増進、生活の安定を図らねばならない諸施策も今後に課せられている重要問題であり、私共町政参画者としての責務を痛感し、国県の施策を主体に極力町財政の範囲内において実効を挙げるべく努力いたす覚悟であります。

大洗町の興亡を賭けた港湾建設工事事も起工以来災害もな順調な進展をみて、愈々今年度より港内の埋立計画の実施による埠頭用地の造成がなされ、待望の大型漁船繋留荷揚げが期待出来る段階となり、亦、原研の工事進捗に伴なう職員住宅用地の造成も急ピッチで進み、町の一威容として参加する日も近く、大洗一中に続く磯浜小学校防音校舎建設も今明年中に全部完成して近代建築が皆さんの眼を驚しませることでしょう。

その他町の都市計画、道路、下水道、観光施設の整備充実振りは県内の他町村にその類を見ない速度で進み、町の総合計画が着々として推進せられて理想郷大洗町建設がなされて居りますことは皆さん方の齊しくご存知のとおりであります。

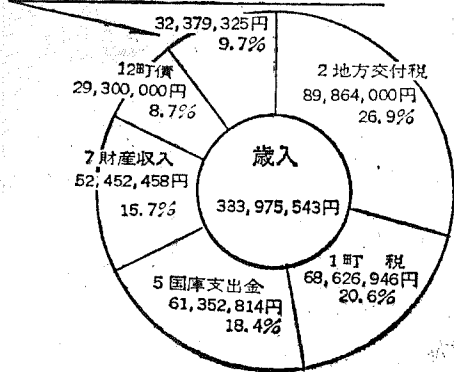
しかし乍ら、限りある財源で、より大なる躍進を図ることは誠に至難とも云えますので、町民の皆様との深いご理解と協力をお願いいたしまして、私共議会議員一同決意を新たに、町当局と文字とおりの表裏一体で豊かな理想郷大洗町建設に尽力を惜しまない覚悟であります。

年頭に当りまして誠に簡単ではありますが、所感の一端を申し延べまして、私のご挨拶といたします。

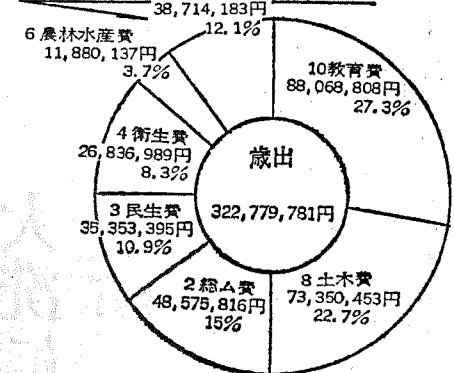


昭和40年度 大洗町一般会計決算

10歳 繰越金	6,900,920円	2.0%
3分担金	6,379,155	1.9%
8寄附金	6,011,970	1.8%
6県支金	5,598,287	1.7%
4使用料	5,551,207	1.7%
11諸収入	1,257,786	0.4%
9繰入金	680,000	0.2%



1議 会 費	11,384,676円	3.5%
12 公 債 費	9,206,919	2.9%
7 消 防 費	8,072,095	2.5%
9 労働 費	4,938,658	1.5%
5 労 働 費	3,371,905	1.1%
11 災害復旧費	1,201,000	0.4%
13 諸 支出金	538,930	0.2%



歳入		
款	予算規額	収入済額
1町 税	53,846,000円	68,626,946円
2 地方交付税	84,850,000	89,864,000
3 分担金及び負担金	6,372,000	6,379,155
4 使用料及び手数料	6,513,000	5,551,207
5 国庫支出金	62,168,000	61,352,814
6 県支出金	5,883,000	5,598,287
7 財産収入	93,389,000	52,452,458
8 寄付金	7,387,000	6,011,970
9 繰入金	680,000	680,000
10 繰越金	5,646,000	6,900,920
11 諸収入	749,000	1,275,786
12 町 債	42,500,000	29,300,000
歳入合計	369,983,000	333,975,543

歳入合計 333,975,543円
歳出合計 322,779,781円
差引残金 11,195,762円

歳出		
款	予算現額	支出額
1議 会 費	11,530,000円	11,384,676円
2総 務 費	50,441,186	48,575,816
3民 生 費	36,500,000	35,353,395
4衛 生 費	29,600,000	26,836,989
5労 働 費	4,247,000	3,371,905
6農林水産費	13,139,000	11,880,137
7商 工 費	8,562,000	8,072,095
8土 木 費	103,329,000	73,350,453
9消 防 費	6,280,000	4,938,658
10教 育 費	92,658,000	88,068,808
11災害復旧費	1,221,000	1,201,000
12公 債 費	10,476,000	9,206,919
13諸 支 出 金	1,010,800	538,930
14予 備 費	989,814	0
歳 出 合 計	369,983,000	322,779,781

昭和40年度 決算のあらまし

事業投資 2,864 万余円

大きく飛躍せんがためいま私達の郷土大洗町は、力強くステップを一つ一つ踏みしめています。昭和40年度の決算がまとまりましたので、そのあらましを御報告申し上げ皆様方の一層の御支援と御協力をお願いいたします。

一般会計で収入の方をみますと、重要な財源であります町税の収入は、皆さん方の御理解ある御協力により、当初予算額に比べ 127.4パーセントの成果を示し国より交付される地方交付税も 100.5パーセントと予算額を上廻り、事業に伴う国や県の補助金および起債（国よりの借入金）なども順調に入りましたので、町有財産（土地立木等）の処分による収入見込が、当初予定した見積額の約半分程度で済むことができました。

一方歳出の方では、港湾建設、道路舗装などの負担金 1,144 万円、町営住宅（一般住宅12戸）の町支出金168万円、船員アパート（16戸）の町支出金421万円、南中学校特別教室および懸案の第一中学校防音教室建設工事に要した町からの支出金1,059万円、消防ポンプ購入のための72万円合計2,864万円が主な事業投資となっています。

明細については別掲の通りであります。歳入歳出差引 1,119 万余円の繰越金は主として、昭和41年度の事業執行の財源として使われています。特別会計のうち水道事業では、歳入合計 8,223 万円に対し、歳出合計7,786 万円で445 万円の剰余となり、県下第二位の受診率を示している国民健康保険特別会計では、皆様方の御理解ある御協力を得て、保険税の納税成績もまづまづに歳入合計 7,259 万円に対し、歳入合計6,407 万円であり翌年度に818 万円の繰越しとなりましたが、これは補助金交付率が上昇したものであり41年度の医療費に充当されるものです。以上御報告申し上げ豊かな郷土大洗町の建設に一そうの御協力をお願いいたします。

社会保障と国民年金

1、社会保障制度
「必要はあらゆるもの」の母であるといわれておりますが、社会保障制度もまたその例外ではありません。それは社会的な強い要請によって生れたものであり、社会の変化とともに変化してゆくものであります。ではどのような必要と社会的背景から生れたものでしょうか。

2、国民年金制度の生れた社会的背景
戦後の家族制度のつくり変りによって、親を養うという考えはだんだんすれてきたといわれておりますが、七十歳以上の老人の約八割に当たる人たちは、崩れゆく家族制度の伝統にたよってやむなく家族や親類縁者に頼りながら生活しているのが実情であります。そのため家族内における老人の座は、必ずしも居心地がよいとはいえない不安定なものとなっております。

3、国民年金制度の理念
国民年金制度の理念とするところは、日本国憲法にも規定されております。それは、老令廃止または死によって国民の生活がこたえられることを共同連帯によってこれを防止し、健全な生活を維持しその向上に寄与するといふことにあります。（日本国憲法第二十五条第一項）貧乏の追放こそ憲法の精神であり、国民年金制度の理念であるといえるわけであります。

4、国民年金制度の使命と役割
国民年金制度が生れる前にも厚生年金、船員保険、それ公務員のための共済組合など、いろいろの年金制度がありましたが、これらの制度はすべて会社、工場、官庁などにつとめている人たちの対象にされたもので、農業や漁業を営んでいる人、中小企業、自由業などの自営業者は、これらの被用者年金制度から取り残されたままでありました。

5、国民年金制度の改正点
国民年金制度は昭和三十四年に初めて法律ができ、同じ年の十一月から福祉年金の支給が始まりました。昭和三十六年四月から制度の中心である拠出年金が実施されました。

6、国民年金制度の改正点
国民年金制度は昭和三十四年に初めて法律ができ、同じ年の十一月から福祉年金の支給が始まりました。昭和三十六年四月から制度の中心である拠出年金が実施されました。

この制度は、近年における公衆衛生の向上と、医学技術の進歩による死亡率の減少と寿命の伸びを招き、その反面においては家族計画の普及による出生率の低下を招く結果となつてあります。

このことは年寄りが増え、ゆくの、それを養う若い人たちが減つてゆくことを意味しています。このように若い者だけでは面倒をみきれない貧しい老人層を、どのように救済すればよいか。不安定な老後の生活をいかにして安定させるか。それは大きな国の力によって積極的に働きかけるより外に道はない。この切実な声に応じて生れたのが、社会保障制度の中の一つである「国民年金制度」なのであります。

7、国民年金制度の改正点
国民年金制度は昭和三十四年に初めて法律ができ、同じ年の十一月から福祉年金の支給が始まりました。昭和三十六年四月から制度の中心である拠出年金が実施されました。

8、国民年金制度の改正点
国民年金制度は昭和三十四年に初めて法律ができ、同じ年の十一月から福祉年金の支給が始まりました。昭和三十六年四月から制度の中心である拠出年金が実施されました。

9、国民年金制度の改正点
国民年金制度は昭和三十四年に初めて法律ができ、同じ年の十一月から福祉年金の支給が始まりました。昭和三十六年四月から制度の中心である拠出年金が実施されました。

厚生年金、船員保険、それ公務員のための共済組合など、いろいろの年金制度がありましたが、これらの制度はすべて会社、工場、官庁などにつとめている人たちの対象にされたもので、農業や漁業を営んでいる人、中小企業、自由業などの自営業者は、これらの被用者年金制度から取り残されたままでありました。

10、国民年金制度の改正点
国民年金制度は昭和三十四年に初めて法律ができ、同じ年の十一月から福祉年金の支給が始まりました。昭和三十六年四月から制度の中心である拠出年金が実施されました。

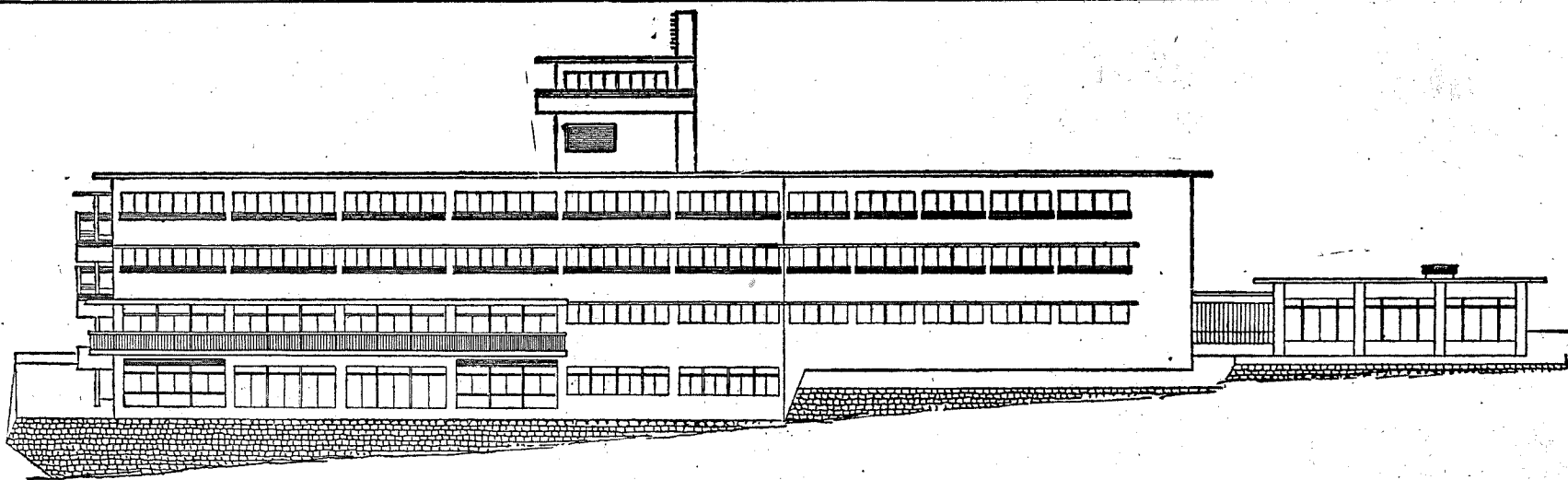
11、国民年金制度の改正点
国民年金制度は昭和三十四年に初めて法律ができ、同じ年の十一月から福祉年金の支給が始まりました。昭和三十六年四月から制度の中心である拠出年金が実施されました。

12、国民年金制度の改正点
国民年金制度は昭和三十四年に初めて法律ができ、同じ年の十一月から福祉年金の支給が始まりました。昭和三十六年四月から制度の中心である拠出年金が実施されました。

13、国民年金制度の改正点
国民年金制度は昭和三十四年に初めて法律ができ、同じ年の十一月から福祉年金の支給が始まりました。昭和三十六年四月から制度の中心である拠出年金が実施されました。

14、国民年金制度の改正点
国民年金制度は昭和三十四年に初めて法律ができ、同じ年の十一月から福祉年金の支給が始まりました。昭和三十六年四月から制度の中心である拠出年金が実施されました。

わが国人口の将来の見とおしは、左のグラフのとおりですが、これにより、昭和三十五年に総人口の五・七％だった六十歳以上の人口は、昭和五十年には十％をこえ、昭和八十年には十六・六％になります。



簡易保険保養センター

祝町ドンドン山に建設決定

総工事費 二億六千万円

磯波しの葬持地として全国に知られている郷土大洗町を訪れる観光客は、年ごとに増えてきておりますが、今度郵政省簡易保険局の資金により、簡易保険保護センターが関東地区内に一ヶ所つくれることになりましたところ、各方面より激しい誘致運動が展開され、しれつを極めました。が、町や議会が一九二〇年として奔走した申張があつて、遂にわが大洗町に建設が決定しました。

総工事費は約一億六千万円で建設する場所は水戸八景の一つとして名高い岩船の夕照と地続きの購入寺横の手ドンドン山地内の町有地ですが、ここは丁度那珂川と瀧泊川との分岐点に當る高台で、右に夢のかけ橋海門橋の麗姿を越して望洋たる紺碧の大平洋を望み、左に筑波の領峰そして那須の連山、更には阿武隈の連峰を二倍いにし眼下には出漁する漁船の出船、入船が朝々夕々にきわつ、全く素晴らしい絶景の地であります。

町有地のうち約四千坪の敷地を賣取し、近々のうちに着工されることになりました。

この施設は鉄筋コンクリート造り四階建（他に塔一階）で総建坪二五九八平方米（約八百坪）でその内容は、大広間、小広間、客室、大浴室、小浴室、娯樂室、食堂、売店、ホール、ロビー、展望台など、

遊園地、泉水付庭園それに従業員専用住宅を三棟別に建てられます。このセンターは簡易保険や郵便年金に加へてゐる人達の心身の保養と健全な娯樂のひとつを過させるため造られるもので、最も近代的なクレイションセンターで家族連れ、団体での憩いの場として気軽に利用でき、日帰りの部と宿泊の部とに分れており約百名以上の人が宿泊できる予定です。

これがきっかけとなつてこの地周囲の観光開発が急アツボですすめられることが予想され、大洗町観光光榮展のため驚はしい次第です。

（写真は保護センターの完成図）

共同募金
大きく目標突破

五十三万五千円 一二四%

共同募金運動も二十周年を迎え、社会福祉事業推進に多大の貢献をしてきました。

人救護施設の暖房設備に重点配分することになっています。

皆さんの暖かい協力が大きく

昨年十月一日より実施しました国民助けあい赤い羽根共同募金運動は、囀託員さん、町民の皆さんとあひます。

事業所、学校等の皆さんの方の絶大な御協力により十一月三十一日現在、目標額四三三、三〇〇円に対し、一五五、一六五円、二四％の成績を修めることができました。お礼申し上げます。これらの集めなお願ひ申し上げます。

共同募金一覽

(12月31日現在)

明神町一	二	三の上	三の下	四	五
一、〇〇〇	六、〇八八	三、六〇〇	一、九〇〇	三、二〇〇	二、七五〇

ンター

建設決定

六千万円

とデラックスなもので、他に子供
遊園地、泉水付庭園それに従業員
専用住宅が三種別に建てられます
このセンターは簡易保険や郵便
年金に加入している人達の心身の
保養と健全な娯楽のひとつを過
させるため造られるもので、最も
近代的なレクリエーションセンタ
ーで家族連れ、団体での憩いの場と
して気軽に利用でき、日帰りの部
と宿泊の部とに分れており約百名
以上の人が宿泊できる予定です。
これがかきつかけとなつてこの地周
辺の観光開発が急ラジですすめ
られることが予想され、大洗町観
光発展のため喜ばしい次第です。
(写真は保養センターの完成図)

六	三、〇五〇	松ヶ丘住宅
七	三、五五〇	通町一
八の一	二、〇〇〇	
九	二、五〇〇	
一〇	三、七〇〇	
十一の一	三、七〇〇	
十一の二	五、〇〇〇	
十二の一	一、三九〇	
十二の二	四、四〇〇	
十三の一	五、〇〇〇	
十三の二	二、〇〇〇	
十四の一	二、〇〇〇	
十四の二	二、〇〇〇	
十五の一	二、〇〇〇	
十五の二	二、〇〇〇	
十六	二、〇〇〇	
十七	二、〇〇〇	
十八	二、〇〇〇	
十九	二、〇〇〇	
二十	二、〇〇〇	
二十一	二、〇〇〇	
二十二	二、〇〇〇	
二十三	二、〇〇〇	
二十四	二、〇〇〇	
二十五	二、〇〇〇	
二十六	二、〇〇〇	
二十七	二、〇〇〇	
二十八	二、〇〇〇	
二十九	二、〇〇〇	
三十	二、〇〇〇	
三十一	二、〇〇〇	
三十二	二、〇〇〇	
三十三	二、〇〇〇	
三十四	二、〇〇〇	
三十五	二、〇〇〇	
三十六	二、〇〇〇	
三十七	二、〇〇〇	
三十八	二、〇〇〇	
三十九	二、〇〇〇	
四十	二、〇〇〇	
四十一	二、〇〇〇	
四十二	二、〇〇〇	
四十三	二、〇〇〇	
四十四	二、〇〇〇	
四十五	二、〇〇〇	
四十六	二、〇〇〇	
四十七	二、〇〇〇	
四十八	二、〇〇〇	
四十九	二、〇〇〇	
五十	二、〇〇〇	
五十一	二、〇〇〇	
五十二	二、〇〇〇	
五十三	二、〇〇〇	
五十四	二、〇〇〇	
五十五	二、〇〇〇	
五十六	二、〇〇〇	
五十七	二、〇〇〇	
五十八	二、〇〇〇	
五十九	二、〇〇〇	
六十	二、〇〇〇	
六十一	二、〇〇〇	
六十二	二、〇〇〇	
六十三	二、〇〇〇	
六十四	二、〇〇〇	
六十五	二、〇〇〇	
六十六	二、〇〇〇	
六十七	二、〇〇〇	
六十八	二、〇〇〇	
六十九	二、〇〇〇	
七十	二、〇〇〇	
七十一	二、〇〇〇	
七十二	二、〇〇〇	
七十三	二、〇〇〇	
七十四	二、〇〇〇	
七十五	二、〇〇〇	
七十六	二、〇〇〇	
七十七	二、〇〇〇	
七十八	二、〇〇〇	
七十九	二、〇〇〇	
八十	二、〇〇〇	
八十一	二、〇〇〇	
八十二	二、〇〇〇	
八十三	二、〇〇〇	
八十四	二、〇〇〇	
八十五	二、〇〇〇	
八十六	二、〇〇〇	
八十七	二、〇〇〇	
八十八	二、〇〇〇	
八十九	二、〇〇〇	
九十	二、〇〇〇	
九十一	二、〇〇〇	
九十二	二、〇〇〇	
九十三	二、〇〇〇	
九十四	二、〇〇〇	
九十五	二、〇〇〇	
九十六	二、〇〇〇	
九十七	二、〇〇〇	
九十八	二、〇〇〇	
九十九	二、〇〇〇	
一百	二、〇〇〇	
一百一	二、〇〇〇	
一百二	二、〇〇〇	
一百三	二、〇〇〇	
一百四	二、〇〇〇	
一百五	二、〇〇〇	
一百六	二、〇〇〇	
一百七	二、〇〇〇	
一百八	二、〇〇〇	
一百九	二、〇〇〇	
二百	二、〇〇〇	
二百一	二、〇〇〇	
二百二	二、〇〇〇	
二百三	二、〇〇〇	
二百四	二、〇〇〇	
二百五	二、〇〇〇	
二百六	二、〇〇〇	
二百七	二、〇〇〇	
二百八	二、〇〇〇	
二百九	二、〇〇〇	
三百	二、〇〇〇	
三百一	二、〇〇〇	
三百二	二、〇〇〇	
三百三	二、〇〇〇	
三百四	二、〇〇〇	
三百五	二、〇〇〇	
三百六	二、〇〇〇	
三百七	二、〇〇〇	
三百八	二、〇〇〇	
三百九	二、〇〇〇	
四百	二、〇〇〇	
四百一	二、〇〇〇	
四百二	二、〇〇〇	
四百三	二、〇〇〇	
四百四	二、〇〇〇	
四百五	二、〇〇〇	
四百六	二、〇〇〇	
四百七	二、〇〇〇	
四百八	二、〇〇〇	
四百九	二、〇〇〇	
五百	二、〇〇〇	
五百一	二、〇〇〇	
五百二	二、〇〇〇	
五百三	二、〇〇〇	
五百四	二、〇〇〇	
五百五	二、〇〇〇	
五百六	二、〇〇〇	
五百七	二、〇〇〇	
五百八	二、〇〇〇	
五百九	二、〇〇〇	
六百	二、〇〇〇	
六百一	二、〇〇〇	
六百二	二、〇〇〇	
六百三	二、〇〇〇	
六百四	二、〇〇〇	
六百五	二、〇〇〇	
六百六	二、〇〇〇	
六百七	二、〇〇〇	
六百八	二、〇〇〇	
六百九	二、〇〇〇	
七百	二、〇〇〇	
七百一	二、〇〇〇	
七百二	二、〇〇〇	
七百三	二、〇〇〇	
七百四	二、〇〇〇	
七百五	二、〇〇〇	
七百六	二、〇〇〇	
七百七	二、〇〇〇	
七百八	二、〇〇〇	
七百九	二、〇〇〇	
八百	二、〇〇〇	
八百一	二、〇〇〇	
八百二	二、〇〇〇	
八百三	二、〇〇〇	
八百四	二、〇〇〇	
八百五	二、〇〇〇	
八百六	二、〇〇〇	
八百七	二、〇〇〇	
八百八	二、〇〇〇	
八百九	二、〇〇〇	
九百	二、〇〇〇	
九百一	二、〇〇〇	
九百二	二、〇〇〇	
九百三	二、〇〇〇	
九百四	二、〇〇〇	
九百五	二、〇〇〇	
九百六	二、〇〇〇	
九百七	二、〇〇〇	
九百八	二、〇〇〇	
九百九	二、〇〇〇	
一千	二、〇〇〇	
一千一	二、〇〇〇	
一千二	二、〇〇〇	
一千三	二、〇〇〇	
一千四	二、〇〇〇	
一千五	二、〇〇〇	
一千六	二、〇〇〇	
一千七	二、〇〇〇	
一千八	二、〇〇〇	
一千九	二、〇〇〇	
二千	二、〇〇〇	
二千一	二、〇〇〇	
二千二	二、〇〇〇	
二千三	二、〇〇〇	
二千四	二、〇〇〇	
二千五	二、〇〇〇	
二千六	二、〇〇〇	
二千七	二、〇〇〇	
二千八	二、〇〇〇	
二千九	二、〇〇〇	
三千	二、〇〇〇	
三千一	二、〇〇〇	
三千二	二、〇〇〇	
三千三	二、〇〇〇	
三千四	二、〇〇〇	
三千五	二、〇〇〇	
三千六	二、〇〇〇	
三千七	二、〇〇〇	
三千八	二、〇〇〇	
三千九	二、〇〇〇	
四千	二、〇〇〇	
四千一	二、〇〇〇	
四千二	二、〇〇〇	
四千三	二、〇〇〇	
四千四	二、〇〇〇	
四千五	二、〇〇〇	
四千六	二、〇〇〇	
四千七	二、〇〇〇	
四千八	二、〇〇〇	
四千九	二、〇〇〇	
五千	二、〇〇〇	
五千一	二、〇〇〇	
五千二	二、〇〇〇	
五千三	二、〇〇〇	
五千四	二、〇〇〇	
五千五	二、〇〇〇	
五千六	二、〇〇〇	
五千七	二、〇〇〇	
五千八	二、〇〇〇	
五千九	二、〇〇〇	
六千	二、〇〇〇	
六千一	二、〇〇〇	
六千二	二、〇〇〇	
六千三	二、〇〇〇	
六千四	二、〇〇〇	
六千五	二、〇〇〇	
六千六	二、〇〇〇	
六千七	二、〇〇〇	
六千八	二、〇〇〇	
六千九	二、〇〇〇	
七千	二、〇〇〇	
七千一	二、〇〇〇	
七千二	二、〇〇〇	
七千三	二、〇〇〇	
七千四	二、〇〇〇	
七千五	二、〇〇〇	
七千六	二、〇〇〇	
七千七	二、〇〇〇	
七千八	二、〇〇〇	
七千九	二、〇〇〇	
八千	二、〇〇〇	
八千一	二、〇〇〇	
八千二	二、〇〇〇	
八千三	二、〇〇〇	
八千四	二、〇〇〇	
八千五	二、〇〇〇	
八千六	二、〇〇〇	
八千七	二、〇〇〇	
八千八	二、〇〇〇	
八千九	二、〇〇〇	
九千	二、〇〇〇	
九千一	二、〇〇〇	
九千二	二、〇〇〇	
九千三	二、〇〇〇	
九千四	二、〇〇〇	
九千五	二、〇〇〇	
九千六	二、〇〇〇	
九千七	二、〇〇〇	
九千八	二、〇〇〇	
九千九	二、〇〇〇	
一万	二、〇〇〇	
一万一	二、〇〇〇	
一万二	二、〇〇〇	
一万三	二、〇〇〇	
一万四	二、〇〇〇	
一万五	二、〇〇〇	
一万六	二、〇〇〇	
一万七	二、〇〇〇	
一万八	二、〇〇〇	
一万九	二、〇〇〇	
二万	二、〇〇〇	
二万一	二、〇〇〇	
二万二	二、〇〇〇	
二万三	二、〇〇〇	
二万四	二、〇〇〇	
二万五	二、〇〇〇	
二万六	二、〇〇〇	
二万七	二、〇〇〇	
二万八	二、〇〇〇	
二万九	二、〇〇〇	
三万	二、〇〇〇	
三万一	二、〇〇〇	
三万二	二、〇〇〇	
三万三	二、〇〇〇	
三万四	二、〇〇〇	
三万五	二、〇〇〇	
三万六	二、〇〇〇	
三万七	二、〇〇〇	
三万八	二、〇〇〇	
三万九	二、〇〇〇	
四万	二、〇〇〇	
四万一	二、〇〇〇	
四万二	二、〇〇〇	
四万三	二、〇〇〇	
四万四	二、〇〇〇	
四万五	二、〇〇〇	
四万六	二、〇〇〇	
四万七	二、〇〇〇	
四万八	二、〇〇〇	
四万九	二、〇〇〇	
五万	二、〇〇〇	
五万一	二、〇〇〇	
五万二	二、〇〇〇	
五万三	二、〇〇〇	
五万四	二、〇〇〇	
五万五	二、〇〇〇	
五万六	二、〇〇〇	
五万七	二、〇〇〇	
五万八	二、〇〇〇	
五万九	二、〇〇〇	
六万	二、〇〇〇	
六万一	二、〇〇〇	
六万二	二、〇〇〇	
六万三	二、〇〇〇	
六万四	二、〇〇〇	
六万五	二、〇〇〇	
六万六	二、〇〇〇	
六万七	二、〇〇〇	
六万八	二、〇〇〇	
六万九	二、〇〇〇	
七万	二、〇〇〇	
七万一	二、〇〇〇	
七万二	二、〇〇〇	
七万三	二、〇〇〇	
七万四	二、〇〇〇	
七万五	二、〇〇〇	
七万六	二、〇〇〇	
七万七	二、〇〇〇	
七万八	二、〇〇〇	
七万九	二、〇〇〇	
八万	二、〇〇〇	
八万一	二、〇〇〇	
八万二	二、〇〇〇	
八万三	二、〇〇〇	
八万四	二、〇〇〇	
八万五	二、〇〇〇	
八万六	二、〇〇〇	
八万七	二、〇〇〇	
八万八	二、〇〇〇	
八万九	二、〇〇〇	
九万	二、〇〇〇	
九万一	二、〇〇〇	
九万二	二、〇〇〇	
九万三	二、〇〇〇	
九万四	二、〇〇〇	
九万五	二、〇〇〇	
九万六	二、〇〇〇	
九万七	二、〇〇〇	
九万八	二、〇〇〇	
九万九	二、〇〇〇	
十万	二、〇〇〇	
十万一	二、〇〇〇	
十万二	二、〇〇〇	
十万三	二、〇〇〇	
十万四	二、〇〇〇	
十万五	二、〇〇〇	
十万六	二、〇〇〇	
十万七	二、〇〇〇	
十万八	二、〇〇〇	
十万九	二、〇〇〇	
十一万	二、〇〇〇	
十一万一	二、〇〇〇	
十一万二	二、〇〇〇	
十一万三	二、〇〇〇	
十一万四	二、〇〇〇	
十一万五	二、〇〇〇	
十一万六	二、〇〇〇	
十一万七	二、〇〇〇	
十一万八	二、〇〇〇	
十一万九	二、〇〇〇	
十二万	二、〇〇〇	
十二万一	二、〇〇〇	
十二万二	二、〇〇〇	
十二万三	二、〇〇〇	
十二万四	二、〇〇〇	
十二万五	二、〇〇〇	
十二万六	二、〇〇〇	
十二万七	二、〇〇〇	
十二万八	二、〇〇〇	
十二万九	二、〇〇〇	
十三万	二、〇〇〇	
十三万一	二、〇〇〇	
十三万二	二、〇〇〇	
十三万三	二、〇〇〇	
十三万四	二、〇〇〇	
十三万五	二、〇〇〇	
十三万六	二、〇〇〇	
十三万七	二、〇〇〇	
十三万八	二、〇〇〇	
十三万九	二、〇〇〇	
十四万	二、〇〇〇	
十四万一	二、〇〇〇	
十四万二	二、〇〇〇	
十四万三	二、〇〇〇	
十四万四	二、〇〇〇	
十四万五	二、〇〇〇	
十四万六	二、〇〇〇	
十四万七	二、〇〇〇	
十四万八	二、〇〇〇	
十四万九	二、〇〇〇	
十五万	二、〇〇〇	
十五万一	二、〇〇〇	
十五万二	二、〇〇〇	
十五万三	二、〇〇〇	
十五万四	二、〇〇〇	
十五万五	二、〇〇〇	
十五万六	二、〇〇〇	

温い心の結集

歳末助けあい運動

十一月一日より実施しました歳末助けあい運動は、今年は鑑金大火義援金品募集とあいまつての事でありましたが、町民の皆さまの暖かい御心により多大の御協力を得る事ができました。これらの金品は年内に生活に困つて（保護家庭）いる人々、し体不自由の子どもたち、精神薄弱の子どもたち、老人ホームにおる本町出身者、被保護入院患者等に町を通し配分しましたところ町民の皆さまの暖かい御厚意に心から感謝しておりました。

一〇、〇〇〇	東海荘模本よし殿
二〇、〇〇〇	大洗親交クラブ殿
一、〇〇〇	明神町小沼せい殿
六、〇〇〇	那珂湊リッターリークラブ殿
衣類 八点	永町二区小松崎幾喜殿
一六、五〇〇	磯浜婦人会殿
六、〇〇〇	大洗町民生委員一同殿
一、〇〇〇	一町民（匿名）
七八二	大洗ゴルフ場食堂

一月五日現在 二十六件
たすけあい金三三五、四三七円
衣類等 一〇〇点、お菓子等が寄
せられており町報をもちまして御
報告をかね厚く御礼申しあげます
なお、ご協力を寄せられました
方々は次のとおりであります。

ウェイトレス二同殿	一〇、〇〇〇 クリーニング組
合大洗地区殿	一、三〇〇 大貫小学校一同殿
二、七三〇 大洗町青年団夏海	支部殿
一、四五六 磯浜小学校職員一	

歳末たすけあ

い寄付者

（一月五日現在）	三八、二五〇	髭釜町一町民
一〇、〇〇〇	（匿名）	
永井忠尚殿	七八、二一九	大洗町職員組合
三、〇〇〇		
明正会殿		
三、〇〇〇		
常陽銀行磯浜支店		
行員一同殿		
	衣類 三〇点	野手 列 殿

○障害年金（最低保障の年金額）
年額一万円（現行一万四千円）
○母子・准母子年金（支給要件ま
たは加算対の子孫または弟妹一
人のとき）
年額五千五百円（現行一万
九千二百円）
○遺児年金（最低保障額）
年額三万円（現行二万二千円）
○寡婦年金（老令年金の年額の算
定方法により計算した額の半額
に相当する額）
保険料の値上げ
拠出年金の年金額の大巾アップ
に伴い、昭和四十二年一月一日よ
り次のように保険料が値上げにな
りました。

二十才以上、三十五才未満（月 額）〇〇円	三十五才以上（月額）五〇〇円
-------------------------	----------------

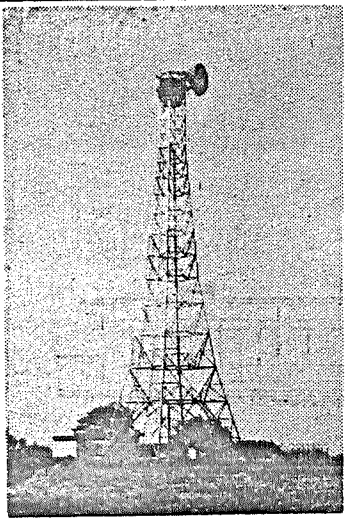
以上のよに国民年金も年金額
の引上げにより、国民年金とあ

るようになりました。

政府としても、今後なお一層皆さんの御期待にそうよう努力することでもあり、町といたしまして、皆さま方の福祉増進に最善をつくすものでございますので、御協力下さいますよう、何分ともよろしくお願いいたします。

一、三〇〇 大洗町青年団殿
 二、〇〇〇 水戸信用金庫大洗
 支店殿
 二、〇〇〇 大貫婦人会殿
 衣類 三〇点 瀧口保育園殿
 あめ(袋) 三六〇個(単五〇)
 満留秀製菓鈴木誠殿
 衣類 二〇点 寺釜区 加部
 東章殿

納税は
期限までに



国際衛星テレビ 中継塔

磯浜地区字高腰に

役場前の県道を祝町方面へと進んでゆくと、左前方に赤く塗装された鉄塔が空に突き立っているのにお気づきのことと思います。この鉄塔は、既に設置されている筑波、十王町の国際電話および宇宙衛星を通じて行うテレビ線放射の中継のために、国際電信電話株式会社の手によって建てられたものであります。

この中継塔は磯浜町字高腰の民有地500坪を同会社が買上げ、高さ555尺に及ぶ鉄塔で、上部には中継用の高度な電波受放機が装備されています。本機械の操作は自動的に動かすいわゆる無人操作で人は誰も居ません。

すでに11月初旬から操作が開始され、国際通信の任務を果たすため大きな貢献をしているものです。大洗町に新しい一つの名物ができたわけですから、

皆様にお知らせいたします

(写真は任務中の中継塔)

年末年始にあたり大洗町青少年相談員は日夜事あること町内の青少年の非行防止、長久兄の相談指導関係機関への協力、有識者の意見聴取等に当たっております。十二月十一日相談員及び町厚生課長一行が非行青少年のたまり場十ヶ所を調査し、いろいろの事情を視察して今後の指導方法等に大きな成果を挙げました。現在本町に相談員は四名おりますがさらに六名増員し十名をもって一月より活動することになっており、

青少年相談員の活動

今後ますます相談員の活動が期待されるわけであり、

また、水戸警察署管内の一市四町、村で水戸市青少年相談員連絡協議会を結成し会長には大洗町

民生委員に広瀬さん

故郷池田氏の後任として、大洗町民生委員推薦会(委員長大貫)において推薦した広瀬光雄氏は、去る八月厚生大臣より民生委員として任命され、



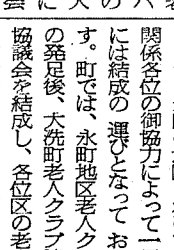
坂本 団 長

消防功労者として 坂本勲五等に叙さる

吾が大洗町消防団は、昨年三月優秀消防団として、国家消防団長官より表彰状を授けられたが、

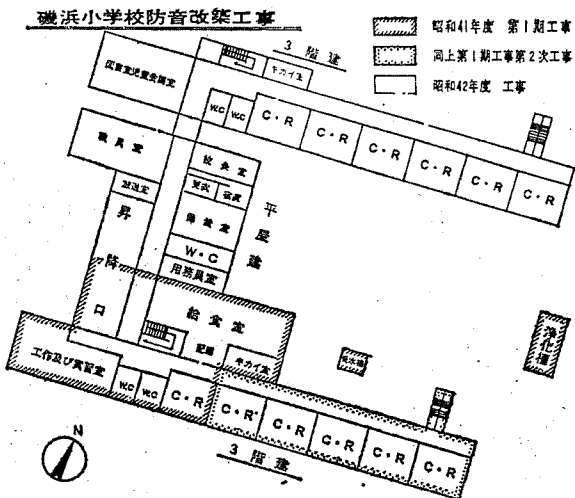
楽しく敬老会

「敬老の日」制定を祝った敬老会は去る九月十五日大洗町バレーコートにおいて磯浜、大貫、夏海の七十以上の方々を招待して盛大に挙行されました。当日は晴大に恵まれみなさんの出席は、開会の十時には九〇名を越す多数のおとまりの方々が集まり会場は



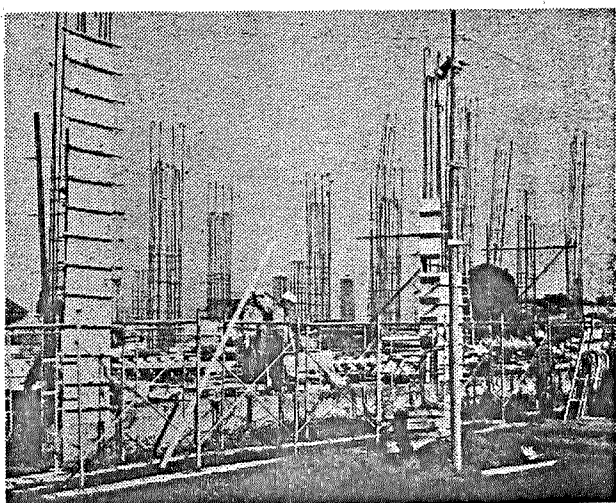
三万円の特別弔慰金支給

昭和四十年四月一日現在戦没者(昭和十六年十一月八日以後の死亡)の遺族の方で公務扶助料、遺族年金等一切の扶助を受けていない遺族の方は、今回の法律改正により特別弔慰金三万円が支給されることになりました。従来は、戦没者の子に限り認められていた特別弔慰金の支給が、戦没者の死亡当時生計関係にあった兄弟、姉妹、妹までの遺族に及ぼされたことになりました。(注)戦没者の死亡後婚姻によって姓が改められた者は資格はありません。この改正により大洗町では多数の特別弔



磯小防音教室追加工事決る 年度内に全体計画の1/2完成

磯浜小学校防音工事は、全体計画5,701平方メートルのうち昭和41年度は第一期工事として1,487平方メートルが認可され既に着手してありますが、この工事は全体計画の4分の1程度であり教育効果の上からも2ヶ年をもって完成すべく第一期工事を更に増大するよう防音施設に要望しておりましたところ去る12月2日付をもつて追加工事1,235平方メートル、15教室分が認可されました。工事は近日中に着手いたしますが、この増額追加工事により年度内に全体の半分の完成し、二ヶ年をもって全校舎が出来あがることとなります



磯小防音教室工事現場

老人クラブ誕生

大貫夏海は全地蔵に〇十月十七日 寺金長寿会 会長関根善四郎(大貫町寺金地区、会員七十五名) 〇十月十七日 磯浜千寿会 会長大貫善四郎(磯浜町磯浜地区、会員七十一名) これで大洗町には十一の老人クラブが結成されました。磯浜町、磯浜町は町内のうちでも大貫地区でありクラブ対象者も多く二つにまとめる結果までには幾多の困難があり、嘱託員、婦人会、民生委員のみなさんならぬ努力により誕生の運びとなったことを厚く御礼申し上げます。

髭釜大火義援運動

義援金 四〇万円
衣類等 七〇〇点

十二月六日夜半磯浜町髭釜地区に於いて一世帯四十名が罹災するといふ大火災が発生しました。本町消防団は、火災発生直後、消防活動として被害を最少限度に食い止めたことは幸甚です。かえの寒空、家具、家財、学用品にいたるまで全部焼けてしまふ途方にくれている方もありお見舞いの言葉もありませんでした。このお気の毒な人たちに一日も早く元気づけようとおもったため大洗町は義援品募集のお知らせをしました。この町民の皆さんから暖かいお見舞いの金品が続々と寄せられ一月五日現在義援金七十四万四千九百三十三円、衣類等九百六十九点、これら金品は早速被災した人びとに町からお届けいたしました。この義援品の皆さんには町民の皆さんの暖かいお気持ちに心から感謝しておられます。なお、義援金をいただいた方は、お礼の状を町に送ります。町報をもつてこの報告をかわるべく御礼申し上げます。

- | | | | |
|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 |
| 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 |
| 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 |
| 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 |
| 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 |
| 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 |
| 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 |
| 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 |
| 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 |
| 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 |

義援金寄付者

- | | | | |
|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 |
| 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 |
| 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 |
| 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 |
| 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 |
| 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 |
| 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 |
| 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 |
| 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 |
| 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 | 大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円 |

大洗町消防団第二分団 二、五〇〇円